

せいめい小委員会報告

2022年9月14日光赤天連総会

せいめい望遠鏡の共同利用・共同研究及び研究交流等に関する専門的事項について審議する

メンバー (※ 委員)

泉浦秀行(国立天文台) 岩室史英(京大)※ 太田耕司(京大) 小西美穂子(大分大)※ 福井暁彦(東大)※
本田敏志(兵庫県立大：委員長)※ 前原裕之(国立天文台)※ 松岡良樹(愛媛大)※ 田實晃人(国立天文台)

- 2022年3月30日：2021年度第7回せいめい小委員会
 - 次期(2022B) 公募要領の確認、修正など
 - 共同利用装置受け入れ手順、審査事項などの確認
- 2022年6月20,22,23日：2022年度第1回せいめい小委員会 (+ 採択会議)
 - 2022Bの共同利用はクラシカル13件(84夜)、ToO 16件(クラシカルと両方の3件含む) (42夜)の応募があり、審査委員の採点を基にして、クラシカル9件(56夜)、ToO13件 (28夜)を採択した。
 - 共同利用に装置を供する場合、希望するセメスターの1年1か月前までに小委員会へ連絡することとした
Call forの1~2ヵ月前には共同利用受け入れ審査を完了する必要があるため
→ 2023Bからの共同利用を目指しているGAOES-RV、TriCCS (分光) チームにエンジニアリングで取得すべき情報を通知
 - その他、UMでの議論事項を確認など
- 2022年7月26-27日：せいめいUMでの共同利用に関する議論
 - ユーザーから、観測者の確保が難しいことが多く、学生だけの観測も認めてほしいとの要望 → 検討する
 - ToO発動時の観測体制が十分ではないことがあるので、当番制の導入も検討する
 - ToO (緊急) 受付手順 → 岡山分室で受け付け
 - 共同利用装置にGTを与えるが、夜数や期間は装置に応じて決めることを確認
 - キュー/自動観測は一部可能になっている、完全自動観測を目指して引き続き開発を進める